

スリランカの文化をお知らせする

ランカ
Lanka
タイムズ
Times



アーユボワン(スリランカの言葉で「こんにちは」)。

11月1日は「良い夫婦の日」もあり、日本では結婚式が一番多い月だと言われます。

スリランカでは、色々な場面で占いが重要視される文化がありますが、結婚においてもそれが当てはまります。結婚する2人は事前に相性を占い、あまりに相性が悪いと結婚できないこともあるそうです。

結婚式の日取りや開始時間なども、占いで細かく決められるので、深夜から支度を始めることもあるとか。

また、披露宴は新郎側・新婦側で2回行われます。お祝い事をたくさんの人で分かち合うスリランカらしい習慣ですね。



☎ 東京オリンピック・パラリンピック戦略推進室
☎0475(80)1633

文化会館催し物

☎ 成東文化会館 ☎0475(82)5222
さんぶの森文化ホール ☎0475(80)9700

サロンコンサートvol.208 村田中 JAZZ LIVE

出演 村田千紘(トランペット・フリューゲルホルン)

田中菜緒子(ピアノ)ほか

日時 11月15日(金) 開演19:00

場所 成東文化会館のぎくプラザ エントランスホール

入場料 1000円 全席自由

内容 トランペット・フリューゲルホルン奏者の村田千紘とピアノ奏者の田中菜緒子の「村田中」によるカルテット JAZZ LIVE。



第6回演劇フェスティバル

日時 11月24日(日) 開演13:30

場所 成東文化会館のぎくプラザ ホール

入場料 無料 全席自由

内容 演劇好きの団体が集まっての発表会です。

令和元年度優秀映画鑑賞推進事業 「日本名作映画祭」

日時 11月30日(土)

第1部 10:00~「東京オリンピック」169分

13:10~「おはん」112分

第2部 16:00~「野火」104分

18:00~「ばんち」104分

場所 成東文化会館のぎくプラザ ホール

入場料 各部500円 全席自由

内容 優れた映画を鑑賞していただくとともに、映画保存への理解を深めていただくことを目的に、文化庁と国立映画アーカイブと共同で主催して行っています。

[主催] 山武市成東文化会館/文化庁/国立映画アーカイブ

[特別協賛] 木下グループ

[協力] 株式会社オーエムシー

[企画] シネフィルのぎく



「さんむフォレスト」

代表 稗田 忠弘さん
ひえだ ただひろ

サンブスギの魅力

後世に伝えたい

「スギ」と聞くと花粉症を思い浮かべる方が多いのではないのでしょうか。山武地域を代表する「サンブスギ」は、250年以上前から挿し木造林の技術とともに受け継がれてきた、スギ花粉が極めて少ない品種です。

今月号は、サンブスギを軸に風土と地域の再生を目指して活動しているさんむフォレスト代表の稗田さんにお話を伺いました。



「サンブスギは地域の貴重な財産です」と稗田代表

資源循環型のまちづくりへ

さんむフォレストは1998年、地元の財産であるサンブスギを有効利用して地域の活性化ができないかと、建築関係者が集まってできたグループです。

サンブスギは、固くて耐久性があり、建材に向いています。削ると淡紅色の木目の特徴です。江戸時代にはイワシ漁の船に使われたり上総建具や組子工芸の材料として利用されてきました。しかし、近年、建築材料や構法の多様化で地域材の自給率が低下し森林の手入れ不足が深刻化しています。

「サンブスギをまるごと利用して資源循環型の仕組みを作り、地元の人たちにサンブスギと暮らしの深い関わりをもっともっと知ってもらい、持続可能な地域づくりを目指したのがこの活動の始まりです。見学会や講座を主な活動にしながら、大工さんの切り落とし材、端材をストーブの燃料にしたり、積み木にしたりと、さまざまな工夫をしてきました。その活動は土壌を耕さない種まきだったかもしれないですね」と稗田さんは、資源循環の大切さを地元の多くの人に伝えることは難しいと語ります。

環境に優しい住まいづくり

さんむフォレストの仲間のつくる住まいには、薪ストーブを積極的に使うのが特徴です。住まいづくりに伴って出る残材を灰になるまで使い切りエネルギー利用することで、化石燃料の使用を減らすことができます。

「現在は産業廃棄物にしかならぬ残材が、環境と人に優しいものに生まれ変わるのです。山武の素材と技でつくられた住まいは必然的に山武らしさを備え、山武の景観の一部となりますからね」と稗田さんは資源循環型のまちづくりを提唱します。

今回お話を伺ったさんむフォレストのモデルルーム（所在…山武市津辺）は、サンブスギがふんだんに使われています。爽やかな香りが漂い、ストレス社会の中にある私たちを癒してくれました。サンブスギの床板は、きれいな淡紅色の木目でとてもやさしい感触がします。

「薪ストーブを入れた家ではフーリングがサンブスギだと床がゆっくり暖まり、靴下もいらぬくらい暖かいという方もいます」と稗田さん。

地元の人に触れてもらう

市では、サンブスギを広く知ってもらおうと、木の温もりや触れあいを通して、心の豊かな人生を送るための「木育」を推進しています。さんむフォレストで製作したサンブスギの積み木を1歳6カ月児健診の際に幼児に無料配布しています。

また、さんむフォレストでは、持続可能な地域づくりの手段の一つとして、市の歴史やサンブスギ、山武林業への理解を深めてもらうことを目的として「サンブスギかるた」をつくりました。

「札一枚一枚を読む、見るだけで先人の足跡を知ることができるはずです。私たちの郷土への愛着や誇りを育む、こころを耕す仕事です」と稗田さんは語ってくれました。

（取材 8月27日）





中学校体育祭 秋空の下で

9月7日、市内の中学校で体育祭が開催されました。今回は成東東中学校取材しました。



▲息を合わせた百足競走



▲熱気あふれる棒倒し



▲ゴールを目指して全力疾走



▲体育祭を盛り上げる応援



▲砂埃が舞い上がる迫力の戦い

エアバス 松尾小学校イベント

エアバス社とANAの担当者による授業が松尾小学校5年生を対象に開催されました。

参加した児童は、世界最大の旅客機A380の製造工程の説明を受けた後、輪ゴムで飛ばす紙飛行機作りやANA客室乗務員から機内アナウンスの指導を受けるなど楽しみながら航空業界の仕事を学びました。(9月26日)



▶チーバくんとSUMムシくんも授業に参加しました。

◀真剣な表情で紙飛行機づくり



恐竜博士のおはなし会



恐竜に関する著書を多数出版している「恐竜博士」こと、真鍋真さんが、しらはたこども園でおはなし会を開催しました。園児たちはさまざまな恐竜の紙芝居やおはなしに夢中な様子でした。(9月24日)

めずらしいサトイモの花



成東地域の高根澤さんの畑で黄色いサトイモの花が咲きました。サトイモはもとも熱帯地域の植物なので、気候条件から日本で咲くのはめずらしいそうです。(9月3日)

アサガオの道



山武地域の椎崎八幡神社の近くにアサガオの道が出来ていました。これは近所に住む早稲田五男さんがボランティアで空き地の整備を兼ねて種をまいて咲かせたそうです。撮影に伺った際には500以上の花が咲き誇っていました。(9月4日)



健康やかに育て 我が家のアイドル



大沼 ^{そら} 蒼空くん
(写真左) H25.4.27生
れお
蓮央くん
(写真右) H31.1.13生

そらは、4月から小学生。
弟の面倒をよく見てくれるお兄ちゃん♡
ミルク作りは進んでやってくれます。
れおは女の子とよく間違われます。
最近、髪が長いので結んだりしてます(笑)
ムチムチなれおに我が家はメロメロです
//
1月には新たに家族が増えます。
また、賑やかになりそうです(笑)
(沖渡)



小林 ^{たくま} 拓真くん
H30.5.23生

食べることが何よりも大好き！
甘えん坊の泣き虫だけど、笑顔いっぱいの優しい子に育ってね！
(日向台)

